

# プレドラ! プレなドラマ まちドラ! 一週間前の演劇公演!

ユニットろむ (宮崎) 進藤アヤノ主宰のユニットろむ、立ち上げ6周年の今年、満を持しての旗揚げ公演。

## 「とうに迷う」

——優陽は会社員。  
家と会社を行き来するある日、見知らぬ部屋へと迷い込んでしまう。屋根裏部屋のようなその場所は、「塔」の中らしい。優陽は帰ろうとするが、この塔の玄関は水に浸かっているらしく、すぐには帰れないと言われてしまう。仕方がないので、水が引くまでの間、塔で過ごす住人たちと話しながら待つことになった。果たして、優陽はいつ帰ることができるのだろうか。

作・演出/進藤アヤノ  
出 演/工藤菜央子(ユニットばすれ)・中村大二朗(みやざき演劇若手の会)・森タカコ(劇団HITISTAGE)・森夢希(劇団SPC)  
ゲスト出演/森岡光(不思議少年)・日高啓介(FUKAIPRODUCE羽衣)

5月18日 19:00開演  
19日 11:00開演  
15:00開演  
(開場は開演の30分前)上演時間90分程度



ユニットろむ プロフィール  
2018年、進藤アヤノが立ち上げた演劇表現ユニット。県内の様々な現場で活動してきた進藤が、その経験をもとに、自身の問題意識や興味関心を実験する場として設立。拠点は宮崎県宮崎市。作品毎に様々な俳優(に限らない人々)やスタッフを迎えて作品創作を行うことで、宮崎の演劇分野における“人や知識の循環”を目指す。

## オープニングセレモニー

5/24 17:30~  
金曜日の夕方に、文化会館の正面玄関前にて、オープニングセレモニーが開催されます。夕日の中、町民の皆さんによる詩の朗読や音楽で「まちドラ! 2024」のオープニングを飾ります。

## カクドラ! 書くドラマ

5/24 19:30~  
90分で「せりふ」書いてみる?

体験型戯曲講座  
戯曲とは「演劇の台本」のこと。短い会話をつないで「せりふ」にする「体験型戯曲講座」です。90分で自分だけの「ドラマ」を書いてみませんか?書き上げた作品は、「まちドラ!」期間中、俳優たちがリーディングで上演します!まことにラッキーな講座です。



# ヨムドラ! 読むドラマ

みまた町民! × 実力派演出家!  
九州屈指の劇団・ユニット!

宮田晃志 (演劇集団宇宙水橋/鹿児島)  
1989年生まれ。山口県出身。演劇集団宇宙水橋 代表。2012年に鹿児島市で劇団を旗揚げ、全ての作品の脚本・演出を務め、役者としても活動。SFやファンタジーなど不思議な世界を、演劇でしかできない表現方法で描く。2021年第46回鹿児島市春の新人賞受賞。2020年より鹿児島演劇協議会の代表理事を務める。

町民☆ちゅうこう×宮田晃志 (鹿児島)  
「宝物探し隊」  
——高齢化が進み限界集落になりつつある村に住む富子の家の居間には、いろんな人がやってきて……

作/恒松千鶴 (2023年度三股町立文化会館戯曲講座受講生)  
演出/宮田晃志 (演劇集団宇宙水橋/鹿児島)  
出演/別府勝子・園分翔太・中前みどり・矢野智彦・清山美咲 (町民☆ちゅうこう)

5月25日 16:00開演  
26日 9:30開演/15:00開演  
5月25日 12:30開演  
26日 11:30開演/13:00開演

演劇関係いすと校舎 (福岡)  
「旅」  
——片田舎の一軒家の縁側。四十九日法要の終わり。中学生の清花が出会ったのは……

作/矢須夏穂 (埼玉県富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ戯曲講座作品)  
演出/守田慎之介 (演劇関係いすと校舎/福岡)  
出演/高野由紀子・柳本あゆみ・吉田紗織・松下龍太郎・やわらあさ・平安寺育子

演劇関係いすと校舎 (福岡)  
2000年3月、行橋高校演劇同好会の卒業生を中心に結成。2005年からは福岡県行橋市にある劇団代表・守田慎之介の家を劇場にした自宅劇場「守田家」を拠点に活動する。また、不定期に九州で活躍する劇団を自宅劇場に招き文化祭のような催しを行う「守祭」も人気を博している。

# ヨムドラ! 読むドラマ

毎年恒例の戯曲講座「せりふ書いてみる?」。2023年度の講座で生まれた5つの短編作品と、埼玉県富士見市民文化会館キラリ☆ふじみの講座で生まれた短編作品を、リーディング作品として上演します。公募で集まった町民チームが九州の実力派演出家とともにつくる3作品、九州屈指の劇団・ユニットが演じる3作品。さらに、みまたでのパフォーマンスやおなじみ「ツァコン」も登場します。どうぞ、まちなか(街中)の特設3劇場をゆったり歩きながらお楽しみください。

まちドラ! ツァコンダクター  
神水流じん子(劇団25馬力)・中村大介(劇団25馬力) ※25・26日両日 日高啓介(FUKAIPRODUCE羽衣)・高野桂子(PUYEY) ※26日のみ

荒木宏志 (劇団ヒロシ軍/長崎)  
劇団ヒロシ軍・代表。長崎県演劇協会・副会長。諺早・独楽劇場・劇場ディレクター。劇団ヒロシ軍三股支部・代表。まちドラ! 2018年から参加し、翌年、町民を巻き込み、三股支部が立ち上がる。三股での代表作。『どんな歌を歌っていても最終的にはアヴェマリアになるやつ』『ペットボトルナックル』

町民☆たいいくかん×荒木宏志 (長崎)  
「ご褒美事件」  
——クリスマスの夜。佐藤家の車庫には、ご褒美事件の犯人が現れるのを待つ警察署員たちがいた……

作/黒木尚美 (2023年度三股町立文化会館戯曲講座受講生)  
演出/荒木宏志 (劇団ヒロシ軍/長崎)  
出演/樹田維知子・今元里子・後藤慎太郎・矢野和代・大村なつみ・柴畑道彦・中城清治・下野洋子 (町民☆たいいくかん)

5月25日 13:30開演  
26日 10:30開演/13:00開演  
5月25日 17:00開演  
26日 9:30開演/14:00開演

劇団いかがなものか (宮崎)  
「人生を変えるならこんな方法で。」  
——女性消防士を目指す大学生の茜音は、両親の説得のために恋人の春輝とからだを入れ替えて……

作/恒松歩美 (2023年度三股町立文化会館戯曲講座受講生)  
演出/段正一郎 (劇団いかがなものか/宮崎)  
出演/藤井寛史・村田遼太郎・藤村晃久・真部法人 (劇団SPC)

劇団いかがなものか (宮崎)  
2020年1月、退職したやさぐれ元演劇部顧問段正一郎と、しがない教え子演劇部員藤井寛史、村田遼太郎とその嫁村田みさきで結成。のちにあてどない藤村晃久が参加。2021年旗揚げ公演「映燈室」(河野文華堂2階アトリエ)、2022年「22才の別れ〜あの頃のフォークソングの物語」(宮崎キネマ館)、2022年「なごり響〜あの頃のフォークソングの物語II」、2023年「映燈室2023」(宮崎県立芸術劇場)。

上野隆樹 (そめごころ・Mr.daydreamer/福岡)  
2016年より福岡にて活動中。主にトラジディの創作を行っている。『SKY BLUE RIVER DANCE』(2017)を上演して以来、多数の作品を制作し、その作風はドラマ演劇から劇詩を軸にした作品まで様々である。身体訓練をベースとした俳優の「身体性」と、「空間」の調和による空間芸術としての演劇のあり方を模索しながら創作を行っている。

町民☆えき×上野隆樹 (福岡)  
「声出してこうぜ!」  
——とある高校の放課後の教室。そこには、進路希望調査票が書けないままの生徒たちがいた……

作/中前月那 (2023年度三股町立文化会館戯曲講座受講生)  
演出/上野隆樹 (そめごころ・Mr.daydreamer/福岡)  
出演/磯口穂乃佳・福田久美・山下美華・高橋鞠弥音・成松尚美・池田陸人・野瀬直子・大村しのぶ (町民☆えき)

5月25日 18:00開演  
26日 11:30開演/14:00開演  
5月25日 14:30開演  
26日 10:30開演/15:00開演

非・売れ線系ビーナス (福岡)  
「ニンゲン・カンケイ・セイビシ」  
——駅前の広場でデート中の恭介と結衣の前に、大きなリュックを背負った謎の人物がやってきて……

作/工藤菜央子 (2023年度三股町立文化会館戯曲講座受講生)  
演出/田坂哲郎 (非・売れ線系ビーナス/福岡)  
出演/夙月・青野大輔・村岡勇輔

非・売れ線系ビーナス (福岡)  
福岡市を拠点に活動。「超ダイアログ」を掲げ、盗み聞きをするような秘密な会話劇を立ち上げる一方、観客と舞台の境を曖昧にするイマージナルな作品も制作している。最近の作品は「些細なうた」「木曾の最期」など。

# ミルドラ! 観るホールでドラマ 舞台芸術を観よう!

## Theatre Ort (東京) チェーホフ・コメディ〜「熊」一幕の滑稽劇〜



5月25日 19:00開演  
26日 16:00開演  
(開場は開演の20分前)  
※前売り・当日共通料金 ※全席自由 ※上演日時指定 ※無料託児有(申込:三股町立文化会館)

ある未亡人の屋敷に、がさつな男が突然やってきました。男は夫を亡くし悲しみに暮れる彼女に夫が残した借金を今すぐ返せと迫り、静かに裏に服したかった女と口論になります。その間でおろおろと何の役にも立たない老執事。「かもめ」「三人姉妹」など長編悲劇で知られるチェーホフによる短編コメディです。ユーモアとベロソス溢れる50分をハイオリンの調べとともに。

作/アントン・チェーホフ  
演出/倉迫康史  
出演/大原研二・平佐喜子・林周一  
演奏/日高慶子  
照明/工藤真一(ユニークブレン)  
衣装/るう(ROCCA WORKS)

Theatre Ort (シアター オルト)  
Ortとは「場」の意味。2000年に現代舞台芸術ユニットOrtとして始動。2015年より東京都立川市の廃校を活用した文化創造施設「たちかわ創造舎」を拠点に活動。「全ての場を劇場に」の合言葉のもと、市民に開かれた演劇・多世代が集う演劇の場づくりを精力的に行い、立川市市民会館(たましんRISURUホール)、くにたち市民芸術小ホール、武蔵野市・吉祥寺シアターなど数多くの公共ホールと協働を重ねる。児童文学を原作にした少人数・短時間・低コストの「よみしほい」は30作以上のレパートリーがあり、児童館・図書館・学校・公園など様々な場所を劇場に変えている。札幌、長野、名古屋、北九州、宮崎など他地域での上演も多い。



倉迫康史 くらさこうじ  
1969年生。宮崎県出身。舞台演出家。社会教育士。一般社団法人Theatre Ort代表理事。たちかわ創造舎ディレクター。洗足学園音楽大学ミュージカルコース講師。1992年、早稲田大学政経学部卒業後、演出家を目指す。全国各地で演劇やリーディング、コミュニケーションのワークショップの講師やコーディネーターを数多く行うほか、オペラやミュージカル、国立劇場での邦楽公演の演出なども手掛ける。宮崎では劇団ゼロQ「文豪の恋文」「文豪の怪談」、宮崎県オペラ協会「カルメン」「赤毛のアン」を演出。台本・作詞も担当した「赤毛のアン」は三菱UFJ信託芸術文化財団「佐川吉男音楽賞 奨励賞」「宮崎日日新聞文化賞」を受賞。

まちドラ! 2024をみんなのトークでしめます! 5月26日(日)のミルドラ! 終演後  
まちドラ! 2024フィナーレ・クロストーク!  
町民の皆さんと全国各地から集まった演劇人が「まちドラ! 2024」を振り返りながら、それぞれのまちのことや、これからのこと、いろんなことを楽しく語りあい、「まちドラ!」を締めくくります。

